

中央介護支援センター 木原千恵 / 村田志保子

- 功 績** 事業所の将来を見据えて新設されたばかりの新たな資格取得にチャレンジ、合格から石巻圏域で初の「産業ケアマネジャー」となる。対企業での新たな切り口を得て啓蒙活動に取り組んだ功績。
- 推 薦 者** 在宅部長 大友 悠平
- 推 薦 理 由** オーナーマインドをもって事業の将来的な対策や考えから情報収集し、新設されたばかりの”産業ケアマネジャー”という資格に合格し、実績を積み重ねていこうとする姿勢は民間医療法人としての先駆的な取組にチャレンジしている事例ととらえます。木原・村田の両名を理事長賞候補として推薦いたします。

内 容

昨今の新型コロナウイルス感染症拡大の影響が徐々に始まってきたことで、居宅介護支援事業所の将来や介護支援専門員の働き方を事業所全体で考える機会が多くなりました。石巻圏域でも競合の居宅介護支援事業所が次々に増加し、その中で生き残っていく為にはどうすれば良いか?民間医療法人の強みを生かして違うことをしていけないといけないのではないかと等、所長の木原と主任の村田を中心に事業所で検討しておりました。介護保険制度の枠組みの中だけでは将来的には発展がないのではないかとこの観点から、様々な情報収集を実施。その中で、2020年に新たに新設されたばかりの”産業ケアマネジャー”という資格を知りました。

”産業ケアマネジャー”の資格は民間のケアマネジャー団体が立ち上げ、東京と大阪で活動し、国の政策である”働き方改革”を見据え、ケアマネジャーが企業と契約して、その企業の社員の中で介護者になっている者に対し、適正なケアプランの作成や、様々な相談にのり提案、調整をすることで、その企業の”介護離職”を減らしていくという目的で作られたものです。石巻圏域で大企業と呼べる企業はそう多くは有りませんが、3年後をイメージするのであればこれから地道に活動して契約できる場所が有るかもしれないと考え、木原と村田で資格取得にチャレンジすることといたしました。両名とも年齢的に自信が無いようでしたが、村田からは、「できるなら2人が合格して石巻で第一号の産業ケアマネジャーになりたいです!」という前向きな発言があり、決定してから、毎日勉強に励んでおりました。結果、2人は合格し石巻圏域で初の”産業ケアマネジャー”となることができました。

現在、3級の試験開催の実績しかなくこれから2級、1級の資格試験を作成していくという全国でも資格者は100名前後で発展途上の資格ですが、この資格をベースに、今までになかった対企業という切り口を得て、啓蒙活動に取り掛かっております。先駆的な取組みである為、企業側もまだ浸透しておらず、実績には至っていませんが、これを機会に更に幅広く中央介護支援センターが活動する機会を得て成長する事が出来ました。